

養護教諭・栄養教諭など少数職種者への効果的な研修

調査の概要

◆課題認識

- ・養成と研修・採用（教育現場）のギャップ
- ・一人職・複数校勤務の少数職種者の研修機会の不足

◆調査研究の目的

- ・養成校教育内容と現職勤務先での職務内容のギャップがあることを認識し、それを改善するための調査研究を行うこと
- ・eラーニングのさらなる活用と学会大会や他職種の研修を含めた多様な研修の情報周知による「新たな研修スタイル」を提案すること

◆調査研究の方法

- ・課題の検討、情報分析
- ・eラーニング教材の開発（養護教諭、栄養教諭、教職の3分野）。「ネットDE研修」とともに視聴することで、初任者・若手教員の意欲を高める。
- ・研修情報の収集と周知  
他職種研修、学会大会、自主勉強会、鈴鹿大学主催研修などの情報を収集し、周知

◆調査研究

- ・質問紙調査（講習受講者、県内外他現職者）
- ・ヒアリング（遠隔地研修などの聞き取り）

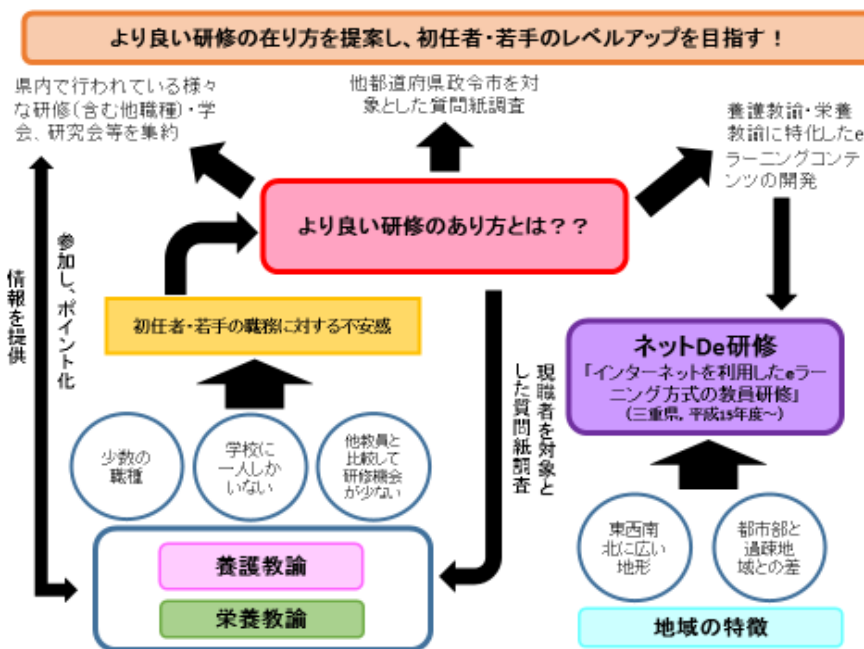
取組のポイント・成果

◆取組のポイント

- ① 新たな教材を開発し、その学びと従来のeラーニングへの積極的な取り組みを促進する。
- ② 新任者、若手教員などへのアンケート調査で課題を抽出する。
- ③ 学会大会や他職種研修など多様な情報を提供し、研修参加意欲を増進させる。

◆成果

- ① 少数職種では初年次研修が一定の効果が見られ、二・三年目の研修充実の必要性が判明した。
- ② 学会・研究会での発表経験は多面的に効果を示す。事例検討など対面的研修とウェブ視聴などを組合せた研修が求められていると判明した。
- ③ eラーニング教材を開発した（30年度3本）
- ④ 学会大会・自主勉強会・他職種研修を周知する「新たな研修スタイル」の提供（本学ウェブサイト等）



今後の課題

◆継続した研修支援

- ・eラーニング教材開発の継続的实施。「ネットDE研修」との連携性の強化
- ・情報提供による他職種を含めた多様な研修への促進し「新たな研修スタイル」を構築